



# 男性と女性、お互いの得意分野を活かせる職場に

日本航空株式会社 千歳空港支店  
屋敷 和子 支店長

interview 1

**私**が入社した1978年は成田国際空港が開港した年で、当時はとにかく走り回っていた記憶があります。「男性に負けたくない」という気持ちで強く、女性社員同士で切磋琢磨を続けました。幼い頃、実家では体の弱かった父親にかわり母親が家計を支えていました。その姿を見て育ったこともあり、女性も経済的自立のために仕事を続けていかなければならないという気持ちがあります。現在、新千歳空港ではお客様をご案内するスタッフ、貨物の搭降載や航空機の整備士など約500人の社員が勤務しています。それぞれが専門性の高い職種で、職種によっては女性の割合が高く、管理職として活躍する女性社員もいます。男性と女性、それぞれに得意分

野があります。お互いの気持ちをおくみ取り、お客様の求めるサービスに応えるために支え合うこと、そして、そのバランスがとれていることが職場として良い状態です。また、私自身はどちらかといえば仕事中心の生活を過ごしてきましたが、社員には仕事だけでなく、プライベートでもたくさんの経験を積み重ねてほしいと思います。例えば、赤ちゃんを抱えて空港に来る母親を見かけることがあります。大変そうだと感覚ではわかるのですが、実体験のある方にかかわらないこともあるでしょう。私たちの業種は運輸業ではなくサービス業です。一人ひとりの社員が重ねた経験を業務に活かすことで、お客様の気持ちに寄り添うサービスにつながっていきます。

屋敷 和子 (やしき かずこ) 支店長

1978年に日本航空株式会社入社。成田国際空港の地上職員として20年以上勤務。2000年に管理職へ昇任。2005年から2006年には神戸空港所開設準備を担当し、2009年まで神戸空港所長として勤務。2011年6月に千歳空港支店長へ就任。

## 事業所の取組、広がっています

市内の事業所を対象に行った市の調査結果から、雇用の形態や役職員の人数などの面で男女格差はまだ大きいことがわかります(図5)。

その一方、仕事と家庭の両立を進める取組も広がっています。この取組を進めることは「働き方」の男女格差を小さくすることにもつながります。

図5 事業所従業員の男女比 (市内事業所を対象に行った調査)

	男性	女性
従業員全体	61.9%	38.1%
常勤従業員	75.5%	24.5%
パートなど	35.3%	64.7%
役職者	89.2%	10.8%
常勤従業員	89.2%	10.8%
パートなど	87.1%	12.9%

千歳市「企業における仕事と家庭の両立推進に関する調査(平成22年度)」

## 仕事と家庭の両立を進めるため、どのようなことに取り組んでいますか？

- Q. 女性の積極的な雇用、管理職・役員の育成など女性の就労支援に取り組んでいる ... 28.9%
- Q. 男性の出産時休暇制度や休暇を取得しやすい環境づくりを進めている ... 17.4%
- Q. 短時間勤務制度を取り入れている ... 25.7%
- Q. 始業・終業の時刻を繰り上げ・繰り下げの取組を行っている ... 18.3%
- Q. 「ノー残業デー」、「ノー残業ウィーク」などの制度導入に取り組んでいる ... 18.3%
- Q. 年次有給休暇を取得するよう進めている ... 35.4%

千歳市「企業における仕事と家庭の両立推進に関する調査(平成22年度)」